
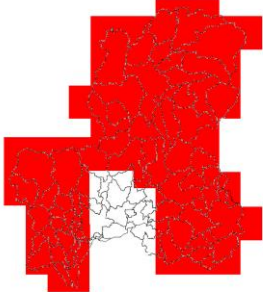


レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i> Siebold et Zucc.	絶滅危惧 I 類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。また、大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(加藤範夫) 
形態の特徴	茎の高さ40-80cmの多年草。根生葉と下部の葉は大型で、2-4回3出複葉。花期は7-8月頃。花は径30-35mm、紫色を帯びた白色。果実は柄のある長さ1.5-2cmの袋果で、無毛。	
生態的特徴	山地帯の落葉広葉樹林の林床に生える。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	日本固有の種。本州(福島県～奈良県)の太平洋側の温帯に分布する。県内では県北の南部及び県南の北部・南東部に生育する。	
減少要因	過度の採取及び生育環境となる落葉広葉樹林の減少。本種は山野草としての人気が高く、採取により急激に減少した。また、本種の生育する山地帯の落葉広葉樹林は針葉樹の植林などにより減少している。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責: 佐藤和良